

「文化の重視」と「人間性の回復」

高松市長選挙に当たって、私が「イノベート高松 - 夢と誇りを持って!」というキャッチフレーズとともに掲げた政治理念が、この「文化の重視」と「人間性の回復」でした。

私が、この言葉に出会ったのは、昨年秋。市長選挙立候補の打診を受けて、その調整のために東京から香川の実家に帰っていた時です。亡父の書棚にあった故大平正芳元首相の演説集「永遠の今」の表紙をめくった扉のページに次のような言葉が記されていたのです。

『私は、このように文化の重視、人間性の回復をあらゆる施策の基本理念に据え、家庭基盤の充実、田園都市構想の推進等を通じて、公正で品格のある日本型福祉社会の建設に力をいたす方針であります』

故大平正芳氏が総理大臣として最初に行った所信表明の一節です。「そうだ、これだ」と思い、私自身もやもやしていた気持ちが晴れて、先に一本の道を見出せたような気がしました。

「夢と誇り」もそうですが、現代社会が効率性やスピードを追い求めるばかりに、ややもすると忘れがちになる視点であり、言葉だと思います。「こういう言葉を久しぶりに聞いたような気がする」とか「こういう言葉を聞くとほっとする」という感想を数人からもらいました。

先に実施した帯広市との「愛と幸福の交流」も、最初は私自身、気恥ずかしい思いもあったのですが、結果、老若男女を問わず、多くの人たちが受け入れて評価していただきました。

政治において「言葉」は、決定的に重要です。その意味でも、私の政治活動の入り口で、この「文化の重視」と「人間性の回復」という理念、言葉に出会えたことは、まさに「セレンディピティ（偶然による思わぬ幸運との出会い）」だったと感謝しています。